

とやまけんしかくしょうがいしゃきょうかい  
《富山県視覚障害者協会》

事件を起こした容疑者は、「重複障害者は生きていても意味がないので、安楽死にすればいい」と言ったそうです。

被害者たちのほとんどは、容疑者の凶行から自分の身を守ることのできない重度障害者たちでした。今回のような容疑者からこの身を守ることができないという意味では、視覚障害者も同様です。この報道に触れ、障害者の当事者団体として、ただただ驚愕と不安を禁じえません。

このような無抵抗の重度障害者を殺すということは、障害者への差別と偏見によるものであることは当然ですが、それだけにとどまらず、人間の尊厳や生存の意味を否定するものでもあります。

その背景には、労働力の担い手としての経済的価値がないとか、能力が劣っているとか、極めて狭い見方で人間を否定する考えがあるのではないかと思います。そういう価値観で物事を判断する人がもし増えるようなことがあったら、と思うととても怖くなります。

この事件が早く解決することはもちろん重要ですが、社会の人たちに障害についてさらに理解していただけるような教育も必要なのではないでしょうか。

結びに、亡くなられた方のご冥福と、負傷された方の回復をお祈りしますとともに、ご家族の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

# とやまけんしたいふじゆうじふぼ かいれんごうかい 《富山県肢体不自由児父母の会連合会》

がつ にち かながわけんよこはまし だい かいぜんこくしたいふじゆうじしゃ  
さる7月30・31日に神奈川県横浜市で「第49回全国肢体不自由児者

ふぼ かいれんごうかいぜんこくたいかい かいさい たいかい かまえ  
父母の会連合会全国大会」が開催されました。その大会では、4日前

がつ にちみめい お かながわけんりつづくい えん さっしょう  
の7月26日未明に起きた「神奈川県立津久井やまゆり園」での殺傷

じけん う しゅさいしゃあいさつ じけん いか  
事件を受け、主催者挨拶で、あってはならない事件への怒りや

ひがいしゃ いぞく く あいとう い の  
被害者・ご遺族へのお悔やみや哀悼の意が述べられました。また、

かながわけん くに らいひん わ ことば じけん  
神奈川県や国からの来賓からは、お詫びの言葉や、このような事件が

に ど く かえ たいさくづく やくそく  
二度と繰り返されることのないような対策作りが約束されました。

たいかい さいご たいかいけつぎぶん とも とくべつけつぎぶん ろうどく さいたく  
大会の最後に、大会決議文と共に特別決議文が朗読され、採択されま  
した。

## とくべつけつぎぶん 【特別決議文】

つくい えん おお かな おそ こ  
津久井やまゆり園で大きな悲しみに襲われました。子どもたちは  
こんかい じけん おお ふあん かん どうじ かぞく しえんしゃ じけん  
今回の事件で大きな不安を感じたと同時に、家族・支援者は、この事件  
しょうがい かた そんげん いま かる おお  
での障害のある方の尊厳が今なお軽んじられていることに大きな  
しょうげき う さべつ ぎゃくたい ちょうえつ しょうがいしゃ  
衝撃を受け、差別や虐待を超越した「障害者なんていなくてよい」  
ゆうせいしそう いま さけ せんりつ おぼ  
という「優生思想」が今なお叫ばれたことに戦慄を覚えました。よっ  
かき じこう とくべつけつぎ  
て、下記の事項を特別決議とします。

1. このような悲惨な出来事により、障害者を排除する社会に向か  
われないよう、関係者一同、意を一つにします。

へいせい ねん がつ にち  
平成28年7月31日

とやまけんじへいしょうきょうかい  
《富山県自閉症協会》

人は誰も「弱み」、「不都合さ」を抱えています。また、人それぞれステキな「強み」も持っています。いろいろな人がいるのが普通の社会です。人が影響し合ってステキな社会を作っています。

しかし、自閉症のように「見た目ではわからない障がい」もあります。「わからないこと」は、無理解や誤解につながり、時には対立になります。私たちは、異なる文化を持つ人たちや認知・感覚に特性のある人たちと接することで、多様な価値観を受け入れる寛容性が、私たちの人生を素晴らしいものにしてくれることを学びました。また、自閉症の特性に向き合いながら一生懸命に立ち向かっている本人と家族の姿勢から感動と勇気をもらいました。彼らは、自閉症の特性がある以外は普通の感情を持つ人であり、心豊かな社会を作るかけがえのない存在なのです。

目の前の困っている人の気持ちに寄り添い、その理由に目を向け、想像力を働かせることのできる優しい人が、たくさん増えるとどんなにステキでしょう。

私たちは、障がいのある人も障がいの無い人も相互に理解し、支え合える社会の実現のためにこれからも取り組んでいきます。

# とやまけんじゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ まも かい 《富山県重症心身障害児(者)を守る会》

にほん もちろん せかい るい み せいさん じけん お  
日本では勿論、世界でも類を見ない凄惨な事件が起きてしまいました  
た。

しょうがい な ひと いのち とうと おも みなおな たいせつ  
障害があっても無くても、人の命の尊さ、重さは、皆同じ大切な  
もの、その命を奪うことなど、如何なることがあっても許されるも  
のではないと思います。

じゅうしょうじしゃ つねひごろ いのち き き たび おお  
重症児者は、常日頃から命の危機にさらされ、その度に多くの  
みなさま けんしんてき かんご かいご すく ひと いのち  
皆様の献身的な看護・介護によって救われています。たった一つの命  
まも しゃかい みなさま い よろこ いのち たいせつ しめ  
を守ることで、社会の皆様に生きる喜びや命の大切さを示している  
のです。こんな素晴らしい社会貢献が他にあるでしょうか。

こんかい はんじん しゅちょう おお と あ けっか ひごろ しょうがい  
今回は犯人の主張が大きく取り上げられ、その結果、日頃は障害  
じしゃ たい まった かんしん も ひと どうちょう へんけん  
児者に対して全く関心を持たない人までが同調し、それが偏見や  
さべつ つな きぐ  
差別に繋がってしまうことを危惧してしまいます。

おお さつじんじけん ばあい はんじん じんけん かぞく しゅひぎむ まも  
多くの殺人事件の場合、犯人の人権やその家族の守秘義務を守るこ  
ゆうせん な ひがいしゃ じんけん かな  
とが優先され、亡くなった被害者の人権はない。それはあまりにも悲  
す  
し過ぎます。

じつめいひこうひょう い そんざい ひてい な あと じんけん  
実名非公表で生きてきた存在が否定され、亡くなった後も人権がな  
い。それでは何のために生まれてきたのか、親としていたたまれない  
おも  
思いです。

な かた し むだ じけん  
亡くなられた方の死を無駄にすることのないように、この事件を  
ぜったい ふうか  
絶対に風化させてはなりません。

# とやまけんしょうがいしゃ じ だんたいれんらくきょうぎかい 《富山県障害者(児)団体連絡協議会》

しょうがいしゃ じんけん そんげん かん けんみんたいかい かいさい  
障害者の人権や尊厳に関する県民大会の開催にあたり、

さがみはらし つく い えん お しょうがいしゃさっしょうじけん  
相模原市の「津久井やまゆり園」で起きた、障害者殺傷事件から  
かげつ  
2カ月がたちました。

ようぎしゃ しょうがいしゃ ふこう ひ お など はな さべついしき はんざい  
容疑者は、「障害者は不幸を引き起こす」等と話し、差別意識が犯罪  
どうき ひと しょうがい う む  
の動機の一つとみられています。障害の有無にかかわらず、あらゆる  
いのち そんげん まも しゃかい じつげん む わたし と  
命の尊厳を守る社会の実現に向けて、どうすべきかを私たちは問  
われています。

しょうがいしゃさべつかいしょうほう ほうりつ で き くに しゃかい ひと  
障害者差別解消法という法律が出来ても、その国の社会=人の  
いしき か なに か  
意識が変わらなければ何も変わりません。

にん もど わたし で き  
19人のいのちは戻ってきません。しかし、私たちは出来ることが  
あります。この辛い事件を忘れず、すべての障害者が「生きていて  
よかった」と思える社会をつくることです。

しょうがいしゃ ちいきしゃかい なか あ まえ せいかつ で き しゃかい  
障害者が地域社会の中で、当たり前前に生活出来る社会をつくるた  
かんが こんしゅうかい せいこうり お きねん  
めに、考えあう、今集会になり、成功裏に終わることを祈念します。

とやまけんしんたいしょうがいしゃふくしきょうかい  
《富山県身体障害者福祉協会》

さ がつ にち さがみはら しょうがいしゃしせつ つく い えん  
去る7月26日、相模原の障害者施設、「津久井やまゆり園」での  
さっしょうじけん おお ひとびと しんかん とつぜん いのち うば  
殺傷事件は、多くの人々を震撼させています。突然、命を奪われて  
にん かたがた ころ あいとう い ひょう いのち  
しまった19人の方々に心から哀悼の意を表します。また、命はと  
ころ からだ ふか きず かた いちにち はや かいふく  
りとめたものの心や体を深く傷つけられた方の一日も早い回復を  
いの  
祈ります。

じけん ていこう じゅうどしょうがいしゃ ひょうてき るい  
この事件は抵抗するすべのない重度障害者を標的とした類をみ  
ざんぎやく さつじんじけん わたし ぜったい ゆる ようぎしゃ  
ない残虐な殺人事件です。私たちは絶対に許せません。容疑者の  
しゅういんぎちょう あ てがみぶん しょうがいしゃ い しかた  
衆院議長に宛てた手紙文「障害者は生きていても仕方がない」  
あんらくし せいけんか く ひろ かち  
「安楽死させたほうがいい」は、ナチス政権下で繰り広げられた「価値  
せいめいまっさつさくせん かさ かち きじゆん はたら  
なき生命抹殺作戦」と重なります。ここでの「価値」の基準は、働く  
のうりよく しゃかい ふたん ど あ  
能力や社会への負担の度合いとされました。

こんかい じけん ゆうせいしそう ほうふつ  
今回の事件は、こうした優生思想を彷彿させるものがあります。そ  
こくれん めいげん こくさいしょうがいしゃじつ か ねんこうどう  
ればかりでなく、かつて国連が明言した「国際障害者十ヶ年行動  
けいかく ゆうめい ことば しょうがいしゃけんりじょうやく しんしん  
計画」にある有名な言葉です。障害者権利条約にある「その心身が  
じょうたい そんちょう けんり ゆう だい じょう ひてい  
そのままの状態尊重される権利を有する」(第17条)をも否定す  
るものです。

げんざい しゃかい たんてき い かくさしゃかい ふかんようしゃかい きゅうそく  
現在の社会を端的に言えば「格差社会や不寛容社会への急速な  
けいしゃ へいそくかん ふとうめいかん いだ ひと ふ おも  
傾斜」であり、閉塞感や不透明感を抱く人が増えているように思いま  
なか しゃかいけいざい よ しゃかいてき よわ  
す。そんな中であって、社会経済のひずみやしわ寄せが社会的に弱い  
たちば もの しゅうちゅうてき しゅうせきてき およ  
立場にある者に集中的、集積的に及んでいます。

こうした社会構造の変容と、今回の事件が無縁かどうか市民社会

全体として真摯に向き合い問い続けていくべきかと思えます。まずは

容疑者に焦点を当て、言動の背景や動機など真相の究明を徹底して

求めます。そのうえで事件の発生や拡大に現場での不備がなかったか、

行政上あるいは政策上の弱点や盲点がなかったか、想定されるあ

らゆる角度から冷静かつ厳正な検証が図られなければなりません。

心の傷は「津久井やまゆり園」の関係者は言うに及ばず日本中の

知的障害者や精神障害者をはじめ、障害のある人すべてに及んで

います。同様に家族皆さんに与えた衝撃も計り知れません。障害の

ある人や家族のみなさんは、委縮することなく顔を上げていつも通り

の生活を送ってください。また支援者のみなさんは、障害のある人や

家族に丁寧に接し励まして、個々に応じた特別な支えを心がけてく

ださい。地域社会の皆さんにも普段と変わらない接し方を呼びかけま

す。

19人の命が戻ることはありません。しかし私たちにはできること

があります。それは今回の事件をすべての人々が大切にされるインク

ルーシブ（わけ隔てのない社会）をつくるための新たなきっかけにす

ることです。このことを市民社会みなで追求していくと共に、私

たちとしてもこれまで以上に主体的に取り組むことを決意します。

とやまけんせいしんしょう      しゃだんたいれんごうかい  
《富山県精神障がい者団体連合会》

今回は痛ましい事件が起きてしまいました。被害にあわれた方のご  
冥福をお祈りしますとともに、ご家族の皆様には心からお悔やみ申  
しあげます。命はその存在があるというだけで尊重されるべきもの  
であり、この世に生まれて生きている事には、理由や価値があり、生  
きているだけで人を幸せにすることができると思います。同じよう  
な事件が起きない事を願います。

そして、この事件によって障がい者に対する、差別・偏見が増幅し  
ない事を切に願います。何かあると「精神障がい者は」と世間一般で  
は言われ、悲しい気持ちになります。今回の事件の犯人は、措置入院  
をしていたという事でしたが、私たち精神障がい者と同一に捉えて  
ほしくありません。全ての精神障がい者が犯罪を起こすわけではな  
いと言う事を分かって頂きたいです。

障がいや年齢に関わらず、地域の中で助け合って互いに声を掛け  
合える関係があることが私たちの生活には大切です。この事件によ  
ってそれがますます難しい方向になっていくのではないかと危惧し  
ています。障がいの有無に関係なく命を大切に「生きる」という事  
を社会全体で考えていかななくてはいけないと思います。

とやまけんせいしんほけんふくしかぞくれんごうかい  
《富山県精神保健福祉家族連合会》

こくれんしょうがいしゃけんりじょうやく ひじゅん しょうがいしゃさべつかいしょうほう とやまけん  
国連障害者権利条約が批准され、「障害者差別解消法」「富山県  
じょうれい しこう しょうがい さべつ しゃかい む あゆ はじ  
条例」が施行されて、障害による差別のない社会に向けて歩み始め  
やさき お こんかい じけん おお しょうげき う ひがい  
た矢先に起こった、今回の事件に大きな衝撃を受けています。被害に  
な なたがた ところ めいふく いの かぞく  
あわれて亡くなられた方々に、心よりご冥福をお祈りし、ご家族の  
みなさま く もう あ しょうがい かた  
皆様にはお悔やみ申し上げます。また、傷害をうけられた方がたの  
いちにち はや かいふく いの  
一日も早い回復をお祈りします。

せいしんしょう しゃ みうち かか かぞく たちば う い  
精神障がい者を身内に抱える家族の立場からは、受け入れできな  
ようぎしゃ せいしんかにゆういんれき すべ  
いショックでした。容疑者に精神科入院歴があったことから、全て  
せいしんしょう しゃ きけんし さべつ へんけん つよ  
の精神障がい者が危険視され、差別、偏見が強まるのではないかと  
きぐ せいしんしょう しゃ びょうき くる せけん  
危惧しています。精神障がい者は、病気による苦しさで世間のうわ  
せいかつ い さんじゅうく なか けんめい い  
さ、そして生活することの生きづらさと三重苦の中で、懸命に生き  
ています。

こうせいろうどうしょう けんとう そちにゆういん たいいんご かんし  
厚生労働省の検討では、措置入院のありかたや、退院後の監視を  
きょうか ほうこう い そちにゆういん しょうじょう じしょうたがい  
強化する方向が言われています。措置入院は、症状による自傷他害  
おそ ばあい かぎ ちりょう たいいんご あんしん せいかつ  
の恐れがある場合に限り治療がおこなわれ、退院後は安心して生活し  
しえんたいせい いみ ちいきじゅうみん ぎょうせい  
ていける支援体制がなければ意味がありません。地域住民と行政、  
ふくし いりょう しえん もと こんかい ようぎしゃ  
福祉、医療がつながった支援が求められています。今回の容疑者は、  
しょうがいしゃ とくい かんが かた  
「障害者はいなくなればいい」といった特異な考え方をもっており、  
せいしんか ちりょう なお  
これは精神科の治療では治りません

こ たび じけん どうき たいおう ただ けんしょう ほうどう かんけいしゃ  
此の度の事件の動機や対応について正しい検証、報道を関係者に

もと おも  
求めたいと思います。

しょうがいしゃ あんしん い しゃかい む こんかい じけん  
障害者が、安心して生きていける社会に向けて、今回の事件をき

っかけにして うんどう きょうか けつい みなさま しえん  
っかけにして運動をさらに強化していく決意です。皆様のご支援ご

りかい ねが  
理解をよろしくお願いします。

とやまけんちてきしょうがいしゃふくしきょうかい  
《富山県知的障害者福祉協会》

へいせい ねん がつ にちみめい かながわけん つく い えん  
平成28年7月26日未明、神奈川県「津久井やまゆり園」において、  
しせつ りょう かた はもの き にん な  
施設を利用されている方が刃物で切りつけられ、19人が亡くなり、  
にん じゅうけいしょう お たいへんいた じけん はっせい  
27人が重軽傷を負うという大変痛ましい事件が発生しました。

な かた いぞく かんけいしゃ かたがた つつし く もう  
亡くなられた方とご遺族、関係者の方々に謹んでお悔やみを申し  
あ ふしょう かた いっこく はや かいふく ば い あ  
上げますとともに、負傷された方の一刻も早い回復と、その場に居合  
かたがた いちにち はや いぜん く もど ころ きず いや ねが  
わせた方々が一日も早く以前の暮らしに戻り心の傷を癒せるよう願  
ってやみません。

じけん ようぎしゃ どうしせつ もとしょくいん あき しょう  
事件の容疑者は同施設の元職員ということが明らかとなり、障が  
ひと そんざい じんかく ひてい きょうじゅつ こと  
いのある人の存在や人格を否定する供述をしているとの事ですが、  
つみ ていこう でき おお ひとたち いのち うば ひれつ ざんにんきわ  
罪もなく抵抗も出来ない多くの人達の命を奪った卑劣で残忍極まる  
じけん つよ いきどお きん え  
事件に強い憤りを禁じ得ません。

じけん しょうさい こんご そうさ あき おも  
事件の詳細は今後の捜査によって明らかにされるものと思われま  
しょう あ な いのち せんべつ ぜったい  
すが、障がいの有り無しで命を選別することは、絶対にあってはな  
りません。どんなに重い障がいのある方も同じ地域の一員です。こ  
よ せい さず だれ たの しあわ せいかつ もと とも ささ  
の世に生を授かった誰しもが楽しく幸せな生活を求め、共に支えあ  
しゃかい じつげん ころ ねが  
う社会の実現を心より願っています。

じけん な かた とうと いのち  
あらためてこのたびの事件でお亡くなりになられた方の尊い命  
あいとう まこと ささ しょう ふくし りょう  
に哀悼の誠を捧げますとともに、障がい福祉サービスを利用して  
かた ふあん ぞうふく わたし ふくししせつ ひび  
いる方の不安が増幅されることのないよう、私たち福祉施設も日々

と く ばんぜん き ひろ けんみん みなさま しょう ふくし りかい  
の取り組みに万全を期し、広く県民の皆様への障がい福祉の理解の

そくしん つと かんが  
促進に努めていきたいと考えております。

さいご こんご に ど せいさん かな じけん く かえ  
最後に、今後二度とこのような凄惨で悲しい事件を繰り返さぬよう、

けんみん みなさま しょう かた りかい しょう ふくし  
県民の皆様の障がいのある方へのご理解と、障がい福祉へのご

きょうりょく せつ ねが もう あ  
協力を切にお願い申し上げます。

とやまけんちょうかくしょうがいしゃきょうかい  
《富山県聴覚障害者協会》

「津久井やまゆり園」で起きた痛ましい事件を受け、犠牲になられた方、そのご家族、関係者の皆さんに、深く哀悼の意を表します。

このような痛ましい事件が二度と起こらないようにするにはどうしたら良いでしょうか。私たち一人ひとりの心に問いかけられています。また社会全体で考えていくことを問いかけられていると思うのです。

津久井やまゆり園に暮らす障害者には、聴覚に障害を持った方、意思疎通に困難を抱えている方もおられることと思います。それぞれの人生を持ち、聞こえない・聞こえにくい障害を理解し、音声情報へのアクセス保障、かつその人にあった意思疎通の支援方法により、地域で暮らす一人として人間らしく生きることができます。

聞こえないから仕方がない、ではなく、目の前に聞こえない人がいて、関わることになった。そのことから逃げないで、関わっていこうとする姿勢のもとに、身振り、文字、絵、指さし、表情、手話等を用いることを知って頂きたいと思います。

どのような障害があれ、私たちと一緒に生きていること、関わる機会があるときはきちんと向き合うこと、そのための様々な支援があること、支援がきちんと使える社会になることをめざして、皆さんとともに頑張りたいと思います。

とやまけん て いくせいはい  
《富山県手をつなぐ育成会》

なかむら あきこ  
【中村 章子さん】

わたし とやまけん て いくせいはいほんにんぶ かい なかむら あきこ  
私は、富山県手をつなぐ育成会本人部会の中村章子です。

かながわけん じけん ひど おも  
神奈川県の事件は、とても酷いことだと思いました。

ひがいしゃ ひと かんが かな おも  
被害者の人たちのことを考えたら、すごく悲しく思います。

わたしは、しょうがい 障害があることで、ひどいことを言われてバカにされ  
たり、いじめのせいで普通学校に行けず、とてもつらかったです。

いま ほうじん こうふく はたら  
今は、NPO法人えいぶるの高福レストランで働いています。

とてもやりがいのある仕事です。

また、育成会の本人活動で友だちがたくさんできました。

本人活動をしている時が。いちばん楽しいです。

育成会の大会や全国大会で、いろんな役割担当をしたことで、自信  
が出てきて、自分の意見を言えるようになりました。

本人活動や、地域の活動に参加している今のほうが、いじめられて  
とじこもっていた時よりも、親切にしてくれる人や話しかけてくれる  
人が、ふえてきたと思います。

わたし しょうらい ひとりぐ  
私は、将来、一人暮らしをしてみたいです。

また、いつかは、好きな人と一緒に暮らせたらいいなと思っています。  
す。

好きな人と安心して暮らせる町になってほしいと思います。

くしおか たつや  
【串岡 達也さん】

ぼく とやまけんて いくせいかいほんにんぶかい くしおかたつや  
僕は、富山県手をつなぐ育成会本人部会の串岡達也です。

すーぱー はたら  
スーパーで働いています。

しごとちゆう  
仕事中、わからないことがあったり、できないことがあったりして、

こま しょうばい ひと おし がんば  
困ることもありますが、職場の人に教えてもらって、頑張っています。

しゅみ てつどう しゃしん アイパッド つか とくい  
趣味は、鉄道や写真です。iPadを使うことも得意です。

しゅみ とも いっしょ とき いちばんたの  
趣味をとおしてできた友だちと一緒にいる時が、一番楽しいです。

しごと とも くるま の かもつれっしゃ さつえい  
仕事のあとに友だちの車に乗せてもらって、貨物列車の撮影にい  
くこともあります。

とも いっしょ てつどうりょこう い  
友だちと一緒に鉄道旅行にも行きます。

かながわけん じけん ざんねん おも  
神奈川県的事件は、とてもくやしくて残念だと思っています。

けいび ふしぎ  
警備システムがうまくはたらかなかったのが不思議です。

ぼく しょうらい ひと けっこん おも  
僕は、将来、好きな人と結婚したいと思っています。

しょうがい かぞく こ おも  
障害があっても、家族や子どもをもちたいと思っています。

しごと がんば  
だから、仕事も頑張っています。

しょうがい ひと おも  
障害があるからといって、いらない人だというのはおかしいと思  
います。

ぼうさか たかし  
【坊坂 隆 さん】

ぼく とやまけんて いくせいかいほんにんぶ かい かいちょう ぼうさかたかし  
僕は、富山県手をつなぐ育成会本人部会会長の坊坂隆です。

かいしゃ ひと  
会社では、なかなか人となじめなくてつらいこともあります。

まいにち いっしょうけんめい しごと がんば  
毎日、一生懸命 仕事を頑張っています。

きゅうじつ ひがえ りょこう いえ おんがく き み  
休日は、日帰り旅行をしたり、家で音楽を聞いたり、DVDを見たりしています。カラオケやボウリングも得意です。

しょうらい じりつ せいかつ じぶん  
将来、自立して、ひとりで生活していくために、自分でできることをひとつひとつ練習していこうと思っています。

かながわけん じけん ほんとう しん  
神奈川県的事件は、本当に信じられませんでした。

しょうがいしゃ ころ  
なぜ、障害者が殺されたのかと、とてもショックでした。

ぼく うえまつようぎしゃ ぜったい ゆる  
僕は、植松容疑者は絶対に許せません。

おな にんげん い  
あなたは、それでも同じ人間か！！と、言いたいです。

がつ か とやまけんいくせいかい ほんにんぶ かい  
8月7日に、富山県育成会の本人部会がありました。

とき ぜんこくいくせいかい く ぼ かいちょう よ  
その時に、全国育成会の 久保会長の メッセージを読み、みんな  
で事件について自分の気持ちを書きました。

か なか ぼく かわ よ  
みんなが書いたものの中から、ひとつ僕が代りに読みます。

こんなことがあると、「自分は、いてもいいのだろうか」と、不安になることがあります。

でも、まわりから「<sup>まも</sup>守られている、<sup>みと</sup>認められている」と、<sup>おも</sup>思えると、  
<sup>じぶんじしん</sup>自分自身や、<sup>しゅうい</sup>周囲の<sup>ひとびと</sup>人々を<sup>たいせつ</sup>大切にしようという<sup>きも</sup>気持ちを<sup>あらた</sup>改めて持つ  
ことができます。

<sup>ぼく</sup>僕たちもみんな<sup>おな</sup>同じ<sup>きも</sup>気持ちです。

この<sup>じけん</sup>事件は、<sup>おな</sup>同じ<sup>しょうがいしゃ</sup>障害者として<sup>ふあん</sup>不安な<sup>きも</sup>気持ちになりました。

<sup>しょうがいしゃ</sup>障害者はいなくなればいい、という<sup>ことば</sup>言葉を聞いて、<sup>じぶん</sup>自分の<sup>こと</sup>事を  
<sup>い</sup>言われているように<sup>おも</sup>思いました。

<sup>たが</sup>お互いが<sup>みと</sup>認めあって、<sup>あんしん</sup>安心して<sup>く</sup>暮らせる<sup>あか</sup>明るい<sup>しゃかい</sup>社会にしてほしいで  
す。

あさおか ゆ き こ  
【浅岡 由木子さん】

かながわけん お じけん じけん おも  
神奈川県で起こった事件は、こわい事件だと思いました。

ぜったい、ひと 人をころしたらだめだと思ひます。

ひと せいかつ  
人ごろしなんかない、おだやかな生活をおくりたいです。

みんなが、たの 楽しくて、へいわ 平和にくらしてほしいと思ひます。

わたし まいにち えん さぎょう かつどう  
私は、毎日、けやき苑にかよって、作業をしたり、よか活動で、  
トーンチャイムやアレンジフラワーをしています。

こんな生活がずっとつづけばいいと思ひます。

あさおか みわ こ  
【浅岡 美和子さん】

つく い えん じけん し とき ことば  
津久井やまゆり園の事件を知った時は、言葉にならないくらいのシ  
ョックを受けました。

ようぎしゃ もとしょくいん しょう ひと  
容疑者が、元職員であったこと、障がいのある人とかかわってき  
て、どうして愛情が持てなかったのか、命を奪うという恐ろしい  
こうどう お しん おも  
行動まで起こしたのか、とても信じられないと思いました。

つら き も とき ぜんいくせい く ぼ かいちょう せい  
そんな辛い気持ちでいる時に、テレビで全育成の久保会長が声  
めいぶん よ あ き はや たいおう  
明文を読み上げられるのを聞きました。とても早い対応でした。

わたしたち ひとり ぜんこく たくさん なかま ささ  
「私達は一人じゃないんだ。全国の沢山の仲間に支えられている…」  
なみだ で かんげき  
と涙が出るほど感激しました。

ねんかん むすめ そだ さいしょ とまど しょう  
38年間、娘を育ててきて、最初は戸惑うこともありましたが、障  
こ も おお おや おも こ かぞく  
がいの子を持つ多くの親の思いがそうであるように、この子は家族に  
たいせつ ほんざい じゅんしん ところ  
とってかけがえのない大切な存在です。純真でまっすぐな心にいつ  
いや すく おも  
も癒され、救われてきたように思います。

せけん みな ねが  
世間の皆さんにお願いしたいのです。

しょう も い よ なか みまも  
障がいを持っていても、生きていきやすい世の中になるよう見守  
くだ  
ってやって下さい。

よろ ねが いた  
どうか宜しくお願い致します。

## 《とやま発達障がい親の会》

たいていの保護者の方がそうであるように生まれてくる我が子は、健康で元気いっぱいうに生まれてくると信じているのではないかと思おもいます。

発達障がいの子ども達は、生まれたときは定型発達の子こども達と変わらないように見えますが、その途中から保護者は育てにくさを感じかんじるようになったり、子ども達は生き辛さを感じるようになったりすることがわかってきました。自分では自分の生き辛い思おもいを訴うえることができず、不適切な表現方法しかできない子こがいるのではないかと思われまおもす。そのような子ども達を見て、「親の躰からだが悪い」と言いってしまうのは簡単かんたんです。ですが、もしかしたら「生き辛い何かがあるのかな？」「困こまっているのかな？」と想像そうぞうすることが出来たら…。

「共に生きる社会」と口で言うのはとてもたやすいことです。でも、その実現には県民一人ひとりの考かんがえ方を少しずつ変かえていく必要ひつようがあると感じています。そのために、まずは一番小さな社会である家庭かていの中で話なをしていただきたいと思います。

「お父さんが病気で寝たきりになったらどうする？」「私の生んだ赤ちゃんが障しょうがいを持っていたらどうする？」そんな会話が、普通ふつうにできる家庭（一番小さな社会）から、大きな社会が形成されていくと思おもうのです。

かぞく だいじ とう ね きら  
家族の大事なお父さんが寝たきりになったら嫌いになるでしょう

たいせつ わ こ う あか しょう も う  
か？大切な我が子が産んだ赤ちゃんが障がいを持って生まれてきた

じぶん い ほんざい まご  
らそれは自分にとって忌むべき存在の孫になるのでしょうか？きっと

おも たいせつ かぞく お じょうきょう  
そんなことはないと思うのです。大切な家族が置かれた状況が、そ

かぞく かぞく あ まえ にちじょう おも  
の家族のすべてとなり、その家族の当たり前の日常となると思うの

です。

たにんごと にちじょう まいにち わ や となり  
他人事ではない日常の毎日が、もしかしたら我が家のお隣やご

きんじょ く かえ しゅうごうたい しゃかい  
近所で繰り返されているかもしれません。その集合体が、きっと社会

おも  
だと思うのです。

しょうがい ひと ひと とも い とやまけん おも  
障害のある人もない人も、共に生きやすい富山県は、ちょっとの思

つ かさ じつげんかのう かん  
いやりの積み重ねで実現可能であると感じています。

# とやまもう しゃとも かい 《富山盲ろう者友の会》

がつ にちみめい はっせい しょうがいしゃしせつさっしょうじけん かん ほうどう せつ  
7月26日未明に発生した、障害者施設殺傷事件に関する報道に接  
し、ただただ驚愕と不安を禁じえません。障害者の人権や尊厳を  
ひてい どうき おこな ひさん  
否定するような動機から行われたということで、こうした悲惨な  
じけん しょうがいしゃ へんけん ぞうか  
事件をきっかけに、障害者への偏見の増加をもたらすのではないか  
きぐ さっこん こうりつゆうせん けいざいゆうせん しゃかい  
と危惧しています。昨今の効率優先、経済優先の社会において、  
ひとりひとり じんけん さんげん けいし けいこう おも  
一人一人の人権や尊厳が軽視される傾向にあるのではないかと思わ  
れます。

しょうがい ひと じんけん さんちょう しゃかい  
どのような障害があっても、人として人権が尊重される社会であ  
ねが  
ってほしいと願っています。

さいご ひがい しょうがい とうじしゃ かぞく あいとう い  
最後に、被害にあわれた障害のある当事者、そのご家族に哀悼の意  
ひょう わたし ひろ しゃかい しょうがいしゃ りかい しえん わ  
を表するとともに、私たちは広く社会に障害者の理解と支援の輪  
ひろ  
を広げたいと願っております。

## 《難病ネットワークとやま》

第2次世界大戦当時、まず精神障害や難病の患者が「役立たず」として抹殺され、この経験を元にやがてユダヤ人の大量虐殺が始まった。さらに衝撃的であったのは、抹殺する患者を「判別」したのは患者を救うはずの医師や看護師であったことだ。彼らはなぜ平気で人を殺す手助けができたのか。

難病（希少・難治性疾患）は遺伝子レベルでの変異が一因であるものが少なくなく、人類の多様性の中で一定の割合で発生することが必然であり、その確率は低いものの国民の誰にでも発症する可能性があることから、難病患者家族を社会的に包含し支援していくことが、これからの成熟した我が国の社会にとってふさわしい認識である。難病とは「治りづらく」（医学的側面）、「生きづらい」（社会的側面）ものの総称である。

障害者、難病患者を含めた全ての人が、人としての尊厳を持って生きることは、平和につながる大事なことである。

# 《日本ダウン症協会富山支部》

生まれた子に障害があることを知ってから、親は常に健全と呼ば  
れる大多数の子や大人との間の壁を感じるに違いない。そうした壁  
を取り払おうとするいくつかの啓発やアクションがあり、国も自治体  
も、施策や事業でそれを推進している。数十年前に比べれば、障害  
のある人たちを取り巻く社会的環境は整えられつつあると感じる。  
日本は「障害者権利条約」を批准し、国内では今年4月から「障害者  
差別解消法」が施行された。

しかし、相模原の事件は、社会環境の整備とは別次元の問題を露呈  
した。心の奥底に障害者を差別し、蔑み、疎ましく思う心があり、  
それを正当化し、その異常さを認識できないまま更に拡大させ止めら  
れない傾向にある人が少なからずいることを示した。世の中に自由を  
尊重し価値観の多様化に寛容な思想が広まる中、過激な行動をどの  
ようにして防ぐことができるのか。それは教育の問題なのか、それ  
も含めた根深い社会の問題なのか……。

差別は明らかに心の問題であり、制度や形が整えられることに  
心の整備が追い付いていないのが現状である。障害のある人を含  
め、誰もが自分らしく生きられる社会であることを願わずにはいられ  
ない。

## 《日本てんかん協会富山県支部》

かながわけんさがみはらし ちてきしょうがいしゃふくししせつ にん しさつ  
神奈川県相模原市の、知的障害者福祉施設で19人が刺殺され、26  
にん ふしょう じけん つよ いきどお ふか かな ひょうめい  
人が負傷した事件について、強い憤りと深い悲しみを表明します。  
くに けんぽう しょうがいしゃさべつかいしょうほう ろうにやくなんによ しょうがい  
わが国では、憲法や、障害者差別解消法などで、老若男女、障害  
うむ しゅるい ていど たちば へいわ い けんり  
の有無や種類、程度など、いかなる立場にあらうと、平和に生きる権利  
ほしょう  
が保障されているはずです。

しかるに、「重度障害者は社会の邪魔者だ」と言わんばかりの蛮行  
みみ おお め ふさ さむけ は け  
には耳を覆い、目を塞ぎたくなり、寒気がして吐き気すらもよおすほ  
おも ほんとう にんげん しわざ うたが  
どの思いにとらわれます。本当に人間の仕業かと疑いたくなるよう  
じけん けねん しょうがいしゃ きょうこ  
な事件です。このことで、懸念されることは、障害者がますます強固  
かくり しゃかいさんか きかい うば  
に隔離されたり、社会参加の機会を奪われたりしないかということ  
わたし じゆう こうどう おびや いちぶ よわ ひと こうげき  
す。私たちの自由な行動が脅かされたり、一部の弱い人たちが攻撃  
ぞうか そし  
にさらされることが増加することだけは阻止しなくてはなりません。  
いまいちど わたし まわ さまざま しせつ ひとりひとり  
また、今一度、私たちの周りで、様々な施設で、あるいは一人一人の  
こころ なか しょうがい ひと さべつてきげんへき ぎやくたい  
心の中で、障害をもつ人たちへの差別的言癖や虐待につながる  
こうどう けんしょう おも  
行動がなされていないか検証していかなくてはならないと思います。

わたし あらた しょうがい ひと にんちしょう ふく  
私たちは、改めて、すべての障害のある人たち（認知症も含む）  
どうどう しゃかいさんか しゃかい こうどう  
が、堂々と社会参加していける社会をめざして行動していくことの  
ひつようせい つよ つよ かん に ど じけん お  
必要性を強く、強く、感じます。二度とこのような事件を起こさせな  
しゃかい すこ きよ ねが  
い社会づくりに少しでも寄与していきたいと願っています。

ふこう さつがい かたがた めいふく いの ふしょう  
不幸にも殺害された方々のご冥福をお祈りするとともに、負傷され  
かんけい かたがた こころ きず にち はや いや  
たかたをはじめ、関係する方々の心の傷が、1日も早く癒されること  
ねが  
を願っています。

## 《日本リウマチ友の会富山県支部》

しょうがい も おお ひとびと さまざま  
障害を持つ多くの人々には様々なハンディキャップがあります。

じょうたい じょうたい う い だれ やくだ  
そのような状態でも、ありのままを受け入れ、誰かのために役立ち

ひと とう  
たいとボランティアをしている人がいます。また、スポーツ等では、

ゆめ きぼう も かがや かつやく じゅうじつ ひび す ひと  
夢と希望を持ち、輝かしい活躍で充実した日々を過ごしている人も

おおぜい しょうがいしゃ しゃかい へんけん め み おお こま  
大勢います。障害者は社会から偏見の目で見られることが多く、困っ

ひと かわいそう ひと おも ところ しょうがいしゃ  
ている人、可哀想な人と思われがちですが、心まで障害者ではなく、

いっしょうけんめいがんばる い  
一生懸命頑張っています。

ことし がつ しょうがいしゃさべつかいしょうほう しこう ほうりつ しこう  
今年4月には障害者差別解消法が施行されました。法律が施行さ

いま さべつ  
れたからといって今すぐ差別がなくなるものではありません。

しょうがいしゃさべつ つねひごろ かにい がっこうせいかつ しゃかいせいかつ  
障害者差別をなくするには、常日頃より家庭や学校生活、社会生活の

なか しょうがい う む ひとり そんちょう しぜん  
中で障害の有無にかかわらず、一人ひとりを尊重することが自然に

そな しゃかい すす たいせつ  
備わってくるような社会づくりを進めていくことが大切ではないか、

おも  
と思います。

かんじゃかい しゃかい わたしたち そんざい し こうどう  
患者会も社会に、私達の存在を知ってもらうよう行動することも

ひつよう とも ささ はげ ところ よ どころ かんじゃかい  
必要になってきます。共に支え励まし、心の拠り所となる患者会の

やくわり は おも  
役割を果たしていきたいと思ひます。

ちが みと あ だれ かがや しゃかい じつげん めざ  
違いを認め合い、誰もが輝く社会の実現を目指してまいりましょ

う。